

20日 火曜

テサロニケ I

1:1 パウロ、シルワノ、テモテから、父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたにありますように。

1:2 私たちは、あなたがたのことを覚えて祈るとき、あなたがたすべてについて、いつも神に感謝しています。

1:3 私たちの父である神の御前に、あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、私たちの主イエス・キリストに対する望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしているからです。

1:4 神に愛されている兄弟たち。私たちは、あなたがたが神に選ばれていることを知っています。

1:5 私たちの福音は、ことばだけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って、あなたがたの間に届いたからです。あなたがたのところで、私たちがあなたがたのためにどのように行動していたかは、あなたがたが知っているとおりです。

1:6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

1:7 その結果、あなたがたは、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範になったのです。

1:8 主のことばがあなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる場所に伝わっています。そのため、私たちは何も言う必要がありません。

1:9 人々自身が私たちのことを知らせていま



す。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、

1:10 御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。

パウロはかつて、アテネからテモテを遣わして、このテサロニケ教会の人々を励ましました。彼らの信仰が、迫害などの困難にはまだ弱かったからです。しかし今は、「あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、私たちの主イエス・キリストに対する望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしている」「信者の模範になった」と言われるほどになっています。

信仰の成長は、全能の主によって実現するものなので、このように可能性に満ちたものです。伝道も養育も癒しも、主に希望をいただきながら進めていきましょう。

「私たちの福音は、ことばだけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って、あなたがたの間に届いた」とあります。私たちは伝道するときに、理解してもらおう、良い印象を持ってもらおう、プレッシャーをかけないようにしよう、誤解のないようにしよう…などと配慮します。それ自体は良いのですが、人に配慮して人を見るあまり、主の力を見落とす場合があります。救いをもたらすのは、人への配慮ではなく、主の力と聖霊、そして語る者の確信なのだということです。ですから祈ることによって、それらをしっかりと求め、また頼りつつ福音を伝えてゆきましょう。救いの決心を促してゆきましょう。

テサロニケ教会に集う人々の信仰は、すばらしい評判になって伝わっていたようです。「他の

人々が言い広めている」とあります。自らの評判は、自分で宣伝するものではなく、人々が広めるほうが証しになります。その背後に主が働いておられるからでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

